

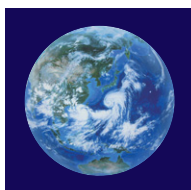
EKK Group CSR Report 2013

EKKグループ CSR報告書 2013
WEB版



3 EKKグループのCSRビジョン 大きな地球を守る、確かな技術

EKKグループの製品は、機器の安定運転を支えるだけでなく、機器内部の油、溶剤、冷媒等の漏れを防ぎ、地球環境の汚染防止に大きく貢献しています。



4 トップメッセージ

「より良い会社」を常に追求しながら、「より良い社会」の実現に貢献していきます。



6 くらしと社会を支える EKKグループ

EKKグループの高度なシール技術、特殊溶接技術、動力伝達技術、バルブ技術等から生まれる多彩な製品は、人々のくらしやさまざまな産業分野に役立っています。



8 特集 社会を支えるEKKの先進技術

流体機器に使われて重要な役割を果たすアキュムレータと、機器の回転や往復運動に使われ、優れたパフォーマンスを発揮する無給油軸受を取り上げ、EKKの先進技術を紹介します。



12 経営体制 CSRマネジメント

より信頼される企業となるため、事業の持続的発展が可能な経営体制を構築し、充実に努めています。



14 環境報告 環境マネジメント

環境方針を定め、環境マネジメントを推進する仕組みを確立して、効率的かつ効果的な実践を図っています。



17 環境報告 環境負荷削減の取り組み

地球温暖化防止と循環型社会の構築に向け、事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組んでいます。



20 社会性報告 従業員・地域とともに

従業員のためにも、また地域の人々のためにも、安全で衛生的な職場環境を整備していくことは重要な責務であると考えています。



21 社会性報告 品質への取り組み

お客様の信頼に応え続けていくために、品質を最優先した製品・サービスの提供に努めています。



22 日本と世界に広がる EKKグループ



編集方針

本報告書は、環境活動報告、安全衛生活動報告に加え、社会的側面に関する記載の充実に努めました。環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」および「GRIサステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第3.1版」を参考に作成しました。

■報告対象期間

2012年度(2012年4月1日から2013年3月31日)の実績が中心ですが、2013年度の取り組みを一部含んでいます。

■報告対象組織

イーグル工業株式会社/イーグルブルグマンジャパン株式会社/岡山イーグル株式会社/島根イーグル株式会社/イーグルハイキャスト株式会社/広島イーグル株式会社/北海道イーグル株式会社/イーグルサービス株式会社/リグナムバイター株式会社/株式会社バルコム

■報告書発行日

2013年7月31日

■CSR報告書に関するお問い合わせ

イーグル工業株式会社
業務本部 総務部 CSR課
TEL.03-3432-3892
FAX.03-3432-5448
〒105-8587
東京都港区芝大門1-12-15
URL <http://www.ekk.co.jp/>

大きな地球を守る、確かな技術

EKKグループが世界に誇る、シール精密技術。そこから生まれるさまざまな製品は、エンジンやプラント、産業機器等の安定運転を支えるだけでなく、機器内部からの油、溶剤、冷媒等の漏れを防ぎ、地球環境の汚染防止に大きく貢献しています。



EKKグループのドライガスシールは遠心コンプレッサ内部からのガス漏れを防ぎ、環境汚染防止に貢献しています。

空気・ガスなどを遠心力によって圧縮する遠心コンプレッサは、石油精製や石油化学プラントのガス輸送、天然ガスの冷却液化、肥料等のアンモニア合成など、産業界のさまざまな分野で使われており、現代社会にとってなくてはならない製品と言えます。EKKグループのドライガスシールは、この遠心コンプレッサの回転軸に装着されて安定運転を支えるとともに、機器内部からのガス*漏れを防ぎ、環境汚染防止に貢献しています。遠心コンプレッサの内部は、高温・高圧のガスであり、回転軸は高速で運転されます。このためドライガスシールは、極めて負荷の高い、過酷な状態で使われるシール部品と言えます。

* 硫化水素、アンモニア、エチレン、水素、メタン、プロパンなどの毒性もしくは可燃性ガス



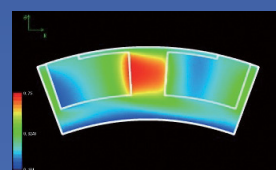
ドライガスシールNF9タイプ

精密加工された動圧溝が、密封性能の決め手です。

ドライガスシールの生命線である「しゅう動面」には、EKKグループが独自に開発した精密な動圧溝が加工されています。この動圧溝が、高速、高圧、高温で回転する遠心コンプレッサの運転条件に対応し、安定した密封性能を生み出しているのです。EKKグループでは研究開発をさらに推し進め、年々過酷化が進むコンプレッサの運転条件に適合したドライガスシールを提供し続けることで、お客さまのニーズに応えていきます。



ドライガスシールMDGSタイプ



コンプレッサ回転時における、ドライガスシールNF9タイプのしゅう動面・圧力分布

「より良い会社」を常に追求しながら、 「より良い社会」の実現に貢献していきます。

世界中の産業にとって、 なくてはならない存在であるために

イーグル工業株式会社は、1964年にNOK株式会社と米国シーロール社との合併企業として設立され、その後、日本をはじめ世界45カ国に子会社・関連会社100数社を有するグローバル・アンド・パブリックカンパニーに成長してまいりました。主力製品である各種ポンプ等に使われる軸封装置メカニカルシールをはじめ関連機器を世界中の約5,000名の従業員の手により文字通り世界中で作り世界中に販売しています。

直近の2013年3月期においては売上高1,028億円、営業利益は76億円となりました。

私どもEKKグループが目指しているのは、お客様満

足度 (Customer Satisfaction) を高め、世界中のあらゆる産業における風水力製品の軸封装置に関するソリューション・プロバイダー (Solution Provider) としてなくてはならない存在価値を持つ中堅優良企業、グローバル・インテグラル・カンパニー (Global Integral Company) たることであります。それを確実にするための経営姿勢と哲学、具現化させるための各種活動について以下に触れます。

良き企業市民として社会と共生し、 さらに信頼される企業へ

EKKグループはNOKグループの主力企業の一つでもあります。そのNOKグループの哲学、「企業は

ステークホルダーとのかかわり





イーグル工業株式会社
代表取締役社長

鶴 鉄二

株主、従業員及び社会三者の共有物である」という考え方を全面的に経営の端々にまで展開しています。すなわち、働く従業員の満足度向上(Employee Satisfaction)を図るために、あるいは社会に受け入れられるために、各種法令の順守を何よりも優先するコンプライアンスの徹底、自然保護の立場での環境経営の展開、あるいは環境保全への積極的貢献、労働安全衛生面に対する徹底した管理、製品の品質を確保するための各種品質活動の充実などであり、それらはISO14001、OHSAS18001、ISO9001、あるいはISO/TS16949の運用実施に表れています。

さらには、イーグル工業は自動車・建設機械・船用・エアロスペース以外の一般産業分野においては、ドイツに本社を置くメカニカルシールメーカーのブルグマン社とアライアンスを組み、お互いの存在を尊重しつつ且つ補完し合いながら世界戦略を展開していますが、これらの思想はEBIアライアンス(Eagle Burgmann Industries Alliance)にも展開されています。

それらの考え方の徹底と実践が、社会において良き企業市民として共生し、従業員の会社への誇りと仕事に対する真摯な姿勢を育み、より質の高い仕事

をお客様へ提供し続けることにより信頼を確保し、企業の最大の目標である適正利益の確保に繋がってきます。つまり私達はあくまで企業の長期的利益の確保を図ることを旨とし、その長期的利益の犠牲の元に短期的利益を追求することは絶対に行わない。いくら儲かるからといって、環境を破壊する恐れがあったり、将来とも品質の確保や供給責任を果たせない可能性のある製品やサービスの提供はしない。そして、経営者が代わろうとも、従業員が移り変わっていかうとも、いつの時代でも、いつまでも、EKKグループは、全てのステークホルダーが誇りを持てる、また社会からも愛される“良い会社”であり続けなければなりません。

“良い会社”であり続ける、これがEKKグループの最終的に目指している姿であり、また“より良い社会”の実現のために貢献していくことができる、これがEKKグループの願いであります。

「CSR報告書2013」はステークホルダーの皆様に対し、EKKグループの環境保全活動への取り組み、品質の向上および社会的な活動に対する考え方や実績を紹介させていただいております。

皆様の忌憚のないご意見・ご感想をいただければ幸いです。

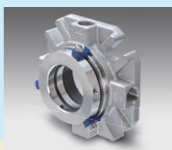
くらしと社会を支えるEKKグループ

EKKグループは、シール技術、特殊溶接技術、動力伝達技術、バルブ技術を大きな柱に、各種メカニカルシール、特殊バルブ、船舶用製品、航空宇宙用製品、ペローズ関連製品、ダイヤフラムカップリング等をお届けしています。

これらの製品は自動車、船舶、各種プラント、航空機やロケット等になくてはならない存在として広く利用され、世界中の人々のくらしや産業分野で貢献しています。

石油化学、鉄鋼、医薬、水、紙、食品

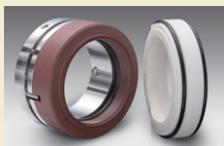
石油化学等の装置産業で大型コンプレッサーに使われるガスシール、工業用大型ポンプやプロセスポンプ等に使われるメカニカルシール、あらゆるケミカル分野で有効な攪拌機用シールユニット等をはじめとして、多様な製品群をそろえています。



グローバル
カートリッジシール



メタルペローズシール



攪拌機用ドライシール



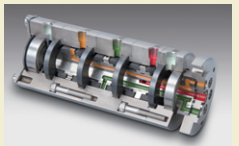
ドライガスシール

半導体製造

半導体製造装置やフラットディスプレイ製造装置の真空シールに使われる磁性流体シール、シリコンウェハーを研磨する化学研磨機やラッピング装置等に使われるロータリージョイント、ペローズ等があります。



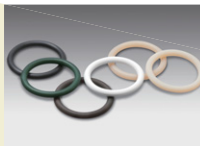
磁性流体シール



ロータリージョイント



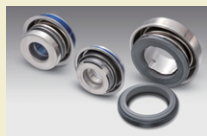
溶接金属ペローズ



カルレッツ[®]、スベリア
カルレッツ[®]は、米国デュポン社の登録商標です。

自動車、建設機械

カーエアコンやウォーターポンプのシール、エンジン等各種装置のソレノイドバルブ、二輪車等の排ガス対策用リードバルブ、建設機械や農業機械等の足回りに使われるフローティングシール等、多彩な製品を安定的にお届けしています。2012年度より、自動車の足回りやハイブリッド車用ブレーキシステムの部品であるアクチュエータが新たに加わりました。



ウォーターポンプ用
メカニカルシール



自動車用アクチュエータ



カーエアコン用リップシール



自動車用バルブ製品



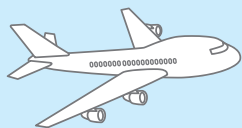
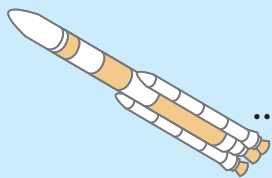
アクチュエータ・バルブ製品



建設機械用
フローティングシール

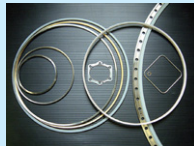


建設機械用アクチュエータ



航空宇宙

ロケットのターボポンプや航空機エンジンのメインシャフト、ギアボックス等に使われる各種シール等を供給しています。国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」に採用されているペローズアキュムレータもEKKグループ製品です。



スタティックシール



セグメントシール



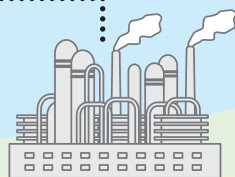
航空エンジン用シール



ペローズアキュムレータ

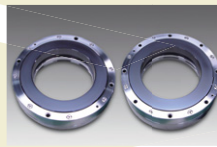


ブラシシール



エネルギー

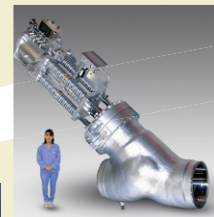
各種発電プラントのポンプや発電機に使われるシールを提供しています。特殊バルブは多くの発電所に採用されています。また、高温・高圧の条件で使用できる各種シールもお届けしています。



ノーコンタクトシール



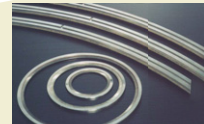
ダイアフラムカップリング



主蒸気隔離弁



水車用シール



ブラシシール

住宅設備

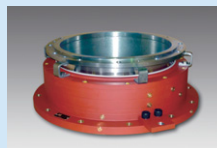
家庭用の温水洗浄便座、家庭用燃料電池、エコキュートなどに使われる各種バルブ、井戸水ポンプやビル・マンション向け給水システムに使われるアキュムレータを提供し、皆さまの快適で健康的な生活をサポートしています。2012年度より新たに加わった製品群です。



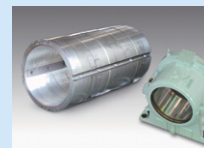
住宅設備用アキュムレータ

船舶

プロペラシャフトに装着されて潤滑油の漏洩や海水の浸入を防ぐ船尾管シール装置や、船尾管軸受等を提供しています。空気を利用して油漏れを完全に抑えた無公害の船尾管シールも多くの船舶に採用されています。



油潤滑用船尾管シール



油潤滑用船尾管軸受、
中間軸受



水潤滑用ゴム軸受

社会を支えるEKKの先進技術

EKKグループは長年培ってきた技術力を活かし、多種多様な製品を世界中にお届けしています。それらの製品はさまざまな機器の中に使用され、通常、私たちの目に触れる機会はありませんが、過酷な条件のもと高度な要求に応え、人々のくらしや社会をしっかりと支えています。ここでは、その中から、流体機器に使われ重要な役割を果たすアキュムレータと、機器の回転や往復運動に使われ、高い環境効果を発揮する無給油軸受を取り上げました。

豊富な製品群で多様なニーズに応える EKKアキュムレータ

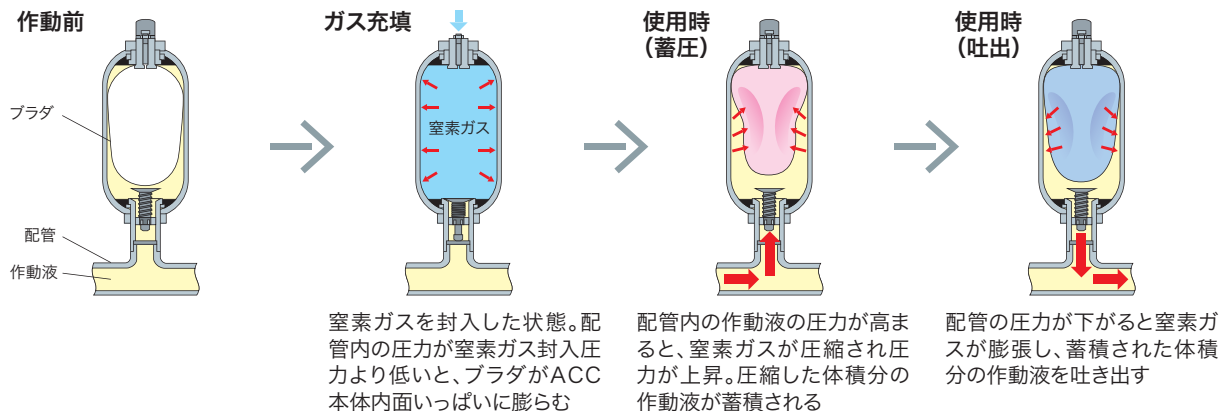
流体エネルギーの活用で 省エネ&騒音・振動低減に効果

ACC(アキュムレータ)とは窒素ガスの圧縮性を利用した「蓄圧器」のことで、油圧機器など、流体を使用する設備機械に装着されます。設備機械内の流体の圧力は、ACC内部にある窒素ガスを圧縮することによってエネルギーとしてACCに蓄えられます。ACCは、このエネルギーを必要に応じて瞬間的に放出し、流

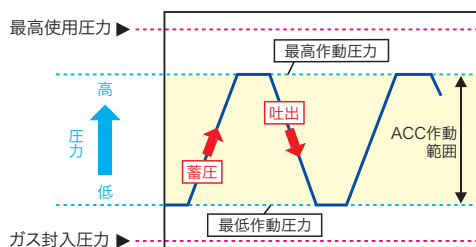
体を供給することができるのです。このため、ACCを装着した設備機械では油圧ポンプ、油圧モーターを小型化することができ、消費電力量の削減効果が得られます。また、ACC内部の窒素ガスは、設備機械の配管の脈動や衝撃を吸収するため、騒音や振動を低減する効果もあります。

EKKでは、こうしたACCを多岐にわたって幅広く製造し、さまざまな産業分野にお届けしています。

●ACC(プラグ型)の作動

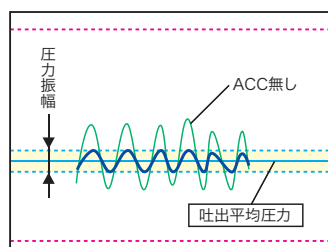


●ACCの働き



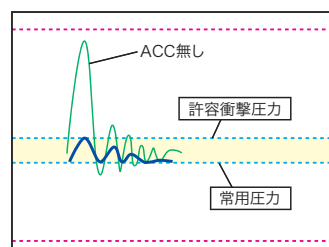
エネルギー蓄積

蓄圧した流体を瞬時に吐出することで、設備機械の補助エネルギー源として利用でき、ポンプの小型化、サイクルの短縮などが可能となり、省エネルギーを図ることができる



脈動吸収

ポンプなどの脈動発生源の近くにACCを装着すると、窒素ガスの圧縮膨張により脈動を吸収し、振動や騒音が低減できる



衝撃吸収

配管は弁を急速に閉じることで、衝撃圧力が発生する。衝撃発生源の近くにACCを装着すると、窒素ガスで衝撃を吸収し、騒音や振動が低減できる



材料・加工・シール技術の 粋を結集した高品質・高性能

EKKでは、窒素ガスと流体を分離する隔壁の材質・構造が異なる、3タイプのACCを製造しています。各タイプともお客様のニーズに合わせて多彩な製品を取り揃え、安定的にお届けしています。

1 ブラダ型ACC(袋状、皿状のゴムの膜を使用)

EKKの優れたゴム材料技術、加工技術から生まれた、高品質、高性能なブラダを採用しています。35ccから160ℓの幅広いガス容積のバリエーションを取り揃え、さまざまな産業分野のニーズにお応えしています。

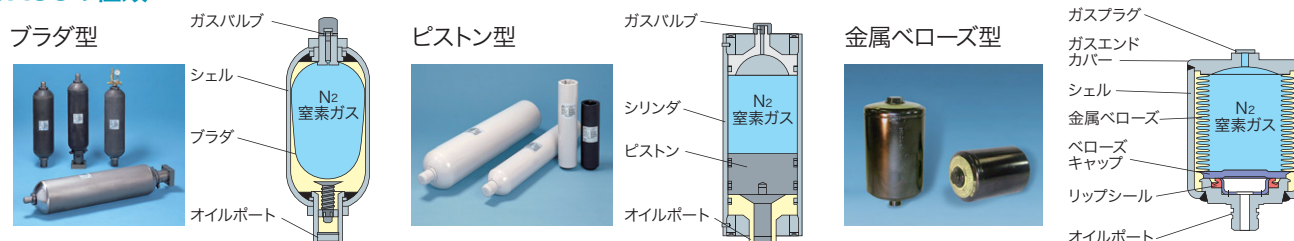
2 ピストン型ACC(フリーピストンを使用)

高度なシール技術と加工技術により、しゅう動抵抗が小さく、密封性に優れたシールを組み込みました。メンテナンスフリーで使用でき、電力設備、成形機、建設機械の厳しい用途にも対応しています。

3 ベローズ型ACC(金属のベローズを使用)

EKKではメカニカルシールのベローズを1964年から開発、製造してきました。以来、長きにわたって培ってきた技術が、高品質、高性能な金属ベローズに結集されています。主に自動車用として開発し、メンテナンスフリーを実現しました。

●ACCの種類



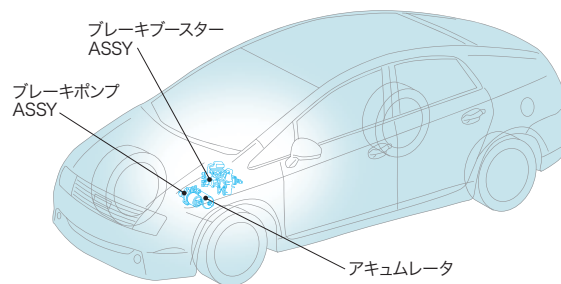
●ACCの用途

EKKでは、その形状や材質はもとより、容積、適用流体、最高使用圧力、最大吐出流量など、バリエーション豊富なACCを提供

しています。これにより、自動車関連から、油圧機器、産業機械、住宅設備に至るまで、幅広い産業分野に貢献しています。

業界	設備名
自動車	ブレーキサスペンションシステム
鉄鋼	油圧装置・ロール装置 クラッシャーミル等 デスケーリング
重電・ 化学設備	ガス遮断機 タービン・コンプレッサー・ボイラー等 原子力発電 洗浄装置
作業機械・ 輸送機械	油圧エレベータ・コンクリートポンプ ローディングアーム

業界	設備名
加工機械	射出成形機 ダイカストマシン プレス 工作機械他 タイヤ加硫機
試験機・ シミュレータ	振動試験機 フライトシミュレータ
油圧機械	油圧ユニット
ビル・家庭	給湯設備 給水装置 駐車場(消火設備)



ハイブリッド車ではエンジンが停止し、また電気自動車ではエンジンがないため、ブレーキ制御にエンジン負圧を利用することができません。ACCは油圧制御ブレーキシステムのエネルギー源として使われ、自動車の安全に貢献しています。

開発者の声

時代が求める 自動車の進化を、 ACCで支えます

イーグル工業(株) AI・CI事業部
ACC設計部 ACC設計2課
横山 隆

金属ベローズ型ACCは、2003年から量産化され、自動車用として年間約150万個供給しています。
使用条件に合わせた開発を進めながら、さまざまな改良を加え、耐久性を向上させてきました。
いま、自動車はさらなる低燃費を求められ、それに伴いACCもさらなる小型、軽量、低コスト化を求められています。こうした時代の要請を受け止め、それに応えて行くことが私たちの使命です。さらなる技術進化を実現し、地球環境にやさしい金属ベローズ型ACCを世界中のお客様さまに届けていきたいと考えています。



ACC設計2課 開発メンバー(左から3人目が筆者)



クリーン&高性能を実現。 給油の要らない焼結軸受「ルブレスドライベアリング」

油汚染の低減、省資源、省エネルギーなど、時代が求める環境性能で貢献

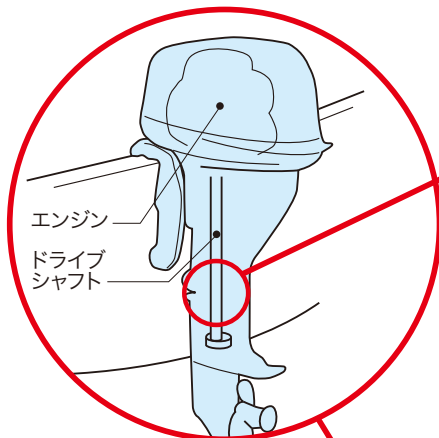
機械や装置の多くは、回転や往復運動を行う機構を内部に備えています。その機構になくてはならないのが、「軸受（ベアリング）」です。軸受には、回転や往復運動をする相手部品（回転軸など）に接しながら、その荷重を支えるという役割があります。さらに軸受は、相手部品を正確かつ滑らかに運動（回転または往復）させるという重要な役割があることから、摩擦によるエネルギー損失や発熱が少なく、部品の焼付きを防ぐことが求められます。そのため、通常、軸受には潤滑油を送り込む供給装置を設けたり、あらかじめ潤滑油を封入したりします。しかし、それでは油による汚損を嫌う部分や、給油が困難な部分へは使用できない、という問題がありました。

そこで開発されたのが、給油の要らない「無給油軸受」です。イーグルブルグマンジャパンでは、「ルブレスドライベアリング」という商品名で多種多様な無給油軸受を製造し、世界の産業界に

お届けしています。

「ルブレスドライベアリング」は、金属の素地に固体潤滑剤を適度に分散させることで、無給油でも安定した潤滑性を確保し、軸の焼付きを防ぎます。「無給油」であるため、給油が困難な水中、油による潤滑性の確保が困難な高温雰囲気、油による製品の汚染を嫌う箇所などへも使用できます。さらに、その材質は適度な気孔と硬度を備えているので、相手材へのダメージを低減するとともに、振動や騒音も吸収します。

このような特長から、「ルブレスドライベアリング」はさまざまな産業分野で使用されています。また、無給油化による環境汚染の低減、摩擦低減による省エネルギー、相手材へのダメージを抑制することによる長寿命化など、まさに時代のニーズに応えた地球環境に優しい製品といえるでしょう。



◀ルブレスドライベアリングは、本体（左）がゴム製外側部品（右）に入った状態で装着されます

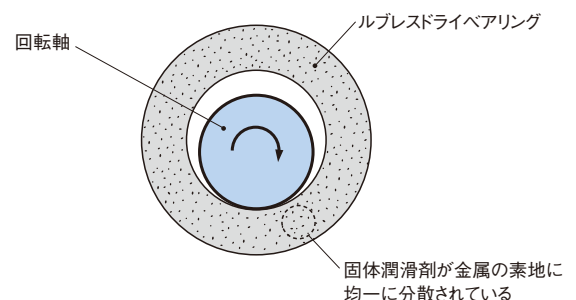
ルブレスドライベアリングが 効果を発揮する使用箇所

- 構造的な理由や、特殊な状況（高温・水中等）のため給油が困難な場所
- 油による製品の汚染を嫌う場所
- メンテナンスフリーで使用したい場所



●ルブレスドライベアリングの潤滑機構

回転軸が作動すると、金属素地に均一に分散された固体潤滑剤が回転軸表面に転移し、安定した潤滑性を生み出します



機器別、産業別に多様な製品を展開

「ルブレスドライベアリング」は、粉末冶金法によって作られた、さまざまな材料を取り揃え、お客さまの多様なニーズに的確に対応しています。

さらに、イーグルブルグマンジャパンでは独自の製造技術によって高いレベルの寸法精度を実現し、高度なニーズに応える高品質の製品をお届けしています。

このように、高度な総合力から生まれる「ルブレスドライベアリング」は、信頼性の高い高付加価値製品として幅広い産業分野で使用されています。

さらなる環境貢献を目指して

高負荷の条件で使用される軸受は、従来から、自己潤滑性(摩擦係数が極めて低い性質)に優れた鉛を材料に配合することにより、軸受や相手材の摩耗を抑制してきました。しかし、近年、環境負荷物質として鉛が取り上げられてきたことから、イーグルブルグマンジャパンでは一部の材料に含まれていた鉛について、鉛レスの「ルブレスドライベアリング」材料の開発に取り組んできました。

そして、長期にわたる研究の結果、鉛に替わる材料の選定に成功しました。この材料と他の材料との配合バランスを最適化することにより、耐摩耗性についても十分な性能を確保することが可能です。当社では、この新材料を使った軸受を、さらに用途展開していきます。

●使用分野

業種	使用機種（使用箇所）
自動車	車高センサ、ウォーターポンプ、ポテンショメータ
電気機器	エアコン（冷媒液中）、電子レンジ（ターンテーブル）
食品機械	炊飯器、パン・ハムなどの自動スライス機
一般産業機械	鉄鋼圧延機関係各種、高温ベルトコンベア、各種ポンプ軸受（水中、汚水、温水、海水、化学プラント）
その他	船外機

エアコン



冷媒液中の軸受

自動車

ポテンショメータ
(ハンドル部)



車高センサ

電子レンジ



ターンテーブル軸受

開発チームの声

製品開発で、 地球環境に もっと貢献したい

イーグルブルグマンジャパン(株)
新潟事業場 焼結品部 焼結品課
横見 智

いろいろな試行錯誤を繰り返しながら鉛レス材料の開発に成功しました。しかし、今後も製品の環境対応や品質に対するお客さまの要求は、ますます厳しいものになっていくものと思われます。そうしたニーズの変化に的確にお応えできるよう、設計技術や材料技術の継続的向上に努めながら、省エネや油汚染防止を一層効果的に実現できる製品開発として、「ルブレスドライベアリング」を世界中に広めて地球環境の改善に貢献していきたいと考えています。



焼結品課 開発メンバー(左端が筆者)



CSRマネジメント

社会的責任を果たしながら、より信頼される企業となるため、事業の持続的発展が可能な経営体制を構築し、充実に努めています。

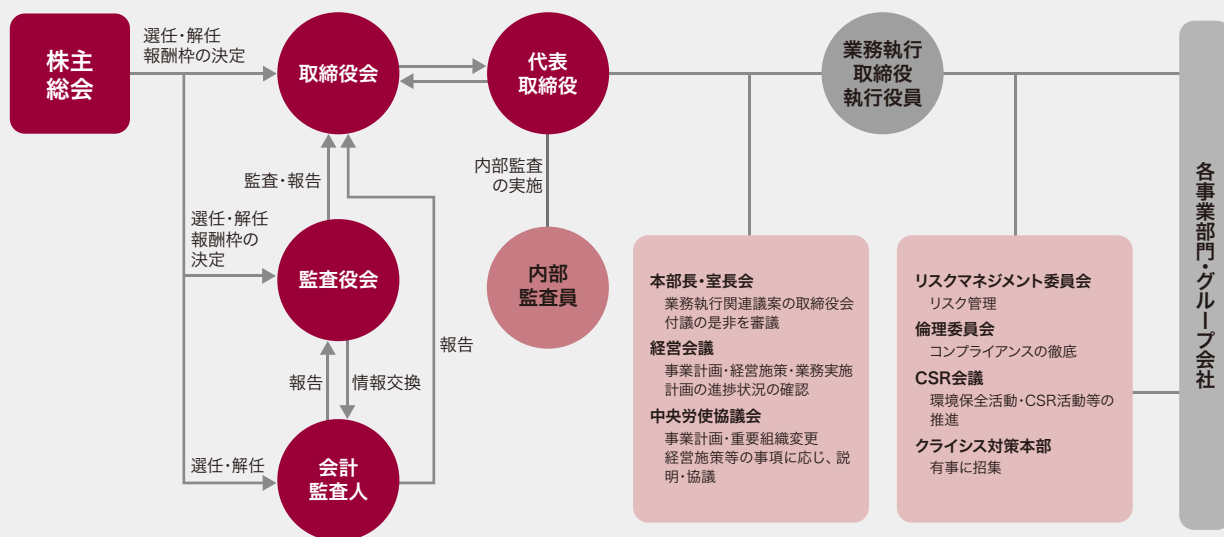
コーポレートガバナンス

EKKでは経営の意思決定をただちに実行に移せるよう常に組織の見直しを行うとともに、大幅な権限委譲と責任の明確化を図り、最大の成果を達成しうる体制の整備に努めています。特に経営会議をはじめとする各種会議には、その重要性に応じ監査役、労働組合の参加を得ることで経営の透明性を保っています。さらに経営トップによる本部・事業部診断は経営層レベ

ルにおける問題点の把握と共通認識が図れる体制をとっています。

また、企業活動の多様化、グローバル化等に伴い企業としてのリスク管理の重要性が増していることから、リスクマネジメント委員会を設置し有事の備えとしています。加えて、全従業員を対象とした行動規範を策定し、モラルの向上を図っています。

コーポレートガバナンス体制



持続性ある成長への基礎固め —10年後の繁栄を期して—

EKKグループは、2012年3月期より「持続性ある成長への基礎固め」と位置付けた3ヵ年計画を策定・推進しております。

この3ヵ年計画は、当初の業容目標として、2014年3月期に売上高1,200億円、営業利益150億円とする計画を掲げましたが、初年度である2012年3月期は未達となりました。また、2013年3月期の計画におきましても、当初3ヵ年計画立案時の値よりも低下する見込みであり、現状の乖離から考慮しますと、最終期の当初計画値は残念ながら達成は困難であるといわざるを得ない状況です。

想定を超える為替変動(円高)や中国経済の減速および中国における日本製品の不買運動、欧州債務問題、更に国内における電力供給問題や半導体業界の極度の不振等があげられます。従いまして、

3ヵ年計画の最終年度の目標数値は、2013年3月期第2四半期時点において見直しを行い、2014年3月期の業績予想である売上高1,100億円、営業利益90億円に変更することといたします。

しかしながら、各事業別の取り組みにつきましては、継続実施するものいたします。とりわけハイブリッドカー向け製品や多様化するエネルギー関連市場向け製品など、次世代製品開発のための研究開発投資等は引き続き推進して参る所存です。そして、海外拠点と一体となった販売、生産、コスト削減等の活動強化も継続して推進するとともに、人財交流によるスキルアップも含めてグローバル経営力の強化に努めてまいります。

今期は、依然、欧州の財政不安や中国・インドをはじめとする新興国の経済成長に先行き不透明感も拭えない状況もありますが、3ヵ年計画の最終年度における計画の着実な遂行のためグループ一丸で取り組んでまいります。

リスクマネジメント

事業活動に潜むリスクを認知し、その顕在化を防止するとともに、クライシス(緊急事態)発生時の対応を定めるため、EKKは2003年に「リスクマネジメント方針」および「リスクマネジメント規程」を制定しました。

各本部・事業部および各関係会社は、「リスクマネジメント方針」に基づき、企業倫理、法令順守の徹底およびリスクマネジメントの推進に努めるとともに、これらの活動を通じてより高い企業倫理の醸成を図っています。

リスクマネジメントの運用体制

リスクマネジメント委員会

事業活動に潜在するリスクを抽出・評価して、組織的認識のもと、予防策の推進を図ります。

倫理委員会

会社の事業運営に伴って発生する倫理上の問題に関して、法令、業界のルール、社会規範に照らし、誠実透明かつ適正な、倫理に即した行動を保証する体制を整えます。また、会社が市場からの信任と評価を得られるような諸施策、および従業員の労働環境を倫理という視点から改善できるような諸施策を推進します。

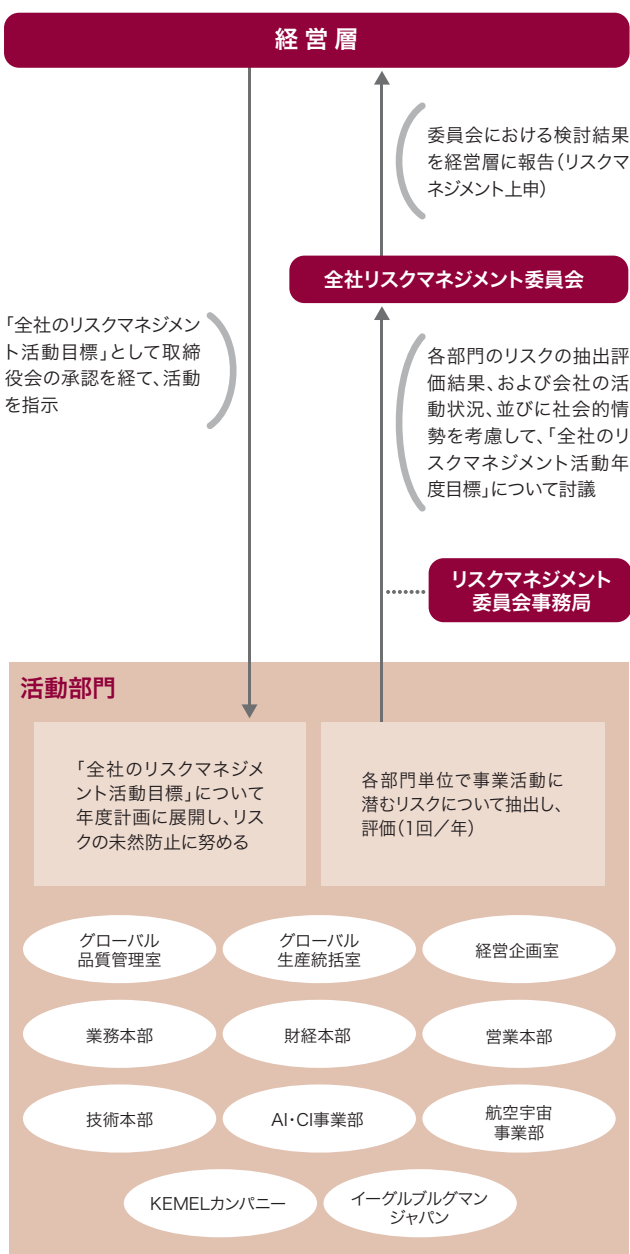
クライシス(緊急事態)対策本部

クライシスが発生した場合、総力を挙げて緊急に状況の早期把握に努めるとともに、迅速・的確な状況判断のもとに、初動体制を確立し、被害の拡大防止を図ります。

倫理相談窓口

従業員から寄せられる倫理疑義事項(法令、業界のルール、社会規範に照らした疑問事項等)に関する相談の解決と、適切な企業行動の維持を図ります。この相談窓口は、社外からの強制的な摘発、従業員等内部者による外部機関への告発、あるいは外部からの批判によってではなく、会社組織自らの力で、従業員の協力を得ながら、不公正な商慣習、違法行為、問題ある取引慣行等を事前に発見し、主体的に解決するための「自浄制度」です。

リスクマネジメント体制



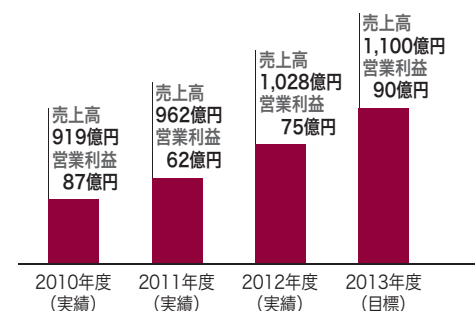
主要推進項目

- 1 グローバル経営力の向上
- 2 人財の育成(人財は新しい価値を創造提案する)
- 3 グローバル生産体制の構築
- 4 品質至上主義の徹底
- 5 10年後に花開く新商品の開発とそれを可能にするコア技術の強化

各事業における取り組み方針

自動車・建設機械業界向け事業	1 グローバル経営基盤の強化と成長市場へのグローバル生産の推進 2 技術伝承と現場力向上 3 安全・品質・環境の弱点強化 4 コア技術深耕と新製品開発	一般産業機械業界向け事業	1 アジアパシフィック、インドと一体となった経営体制構築 2 適地生産の実践と納期維持率の向上 3 致命欠陥、再発クレームの撲滅
船用業界向け事業	1 アジア市場への本格参入 2 環境配慮型製品の開発 3 グループ力の向上	航空宇宙業界向け事業	1 技術の伝承とものづくり力の強化 2 海外販売網整備、海外拡販 3 固有技術蓄積による新商品開発

目標経営数値



環境マネジメント

EKKグループ全体で継続的に環境保全活動に取り組んでいくために、環境方針を定め、環境マネジメントを推進する仕組みを確立して、効率的かつ効果的な実践を図っています。

環境方針

基本理念

イーグル工業株式会社及びそのグループ会社は、企業が社会の一員であること、及び私達が生産するシーリング関連製品は公害防止・省エネルギー等環境保護に寄与する製品であることを踏まえ、事業の活動、製品及びサービスが地球規模での環境影響に深く関わりを持つことを自覚し、コンプライアンス（遵法の精神）を活動の原点とし、自主的・継続的に地球環境の保全に取り組めます。

行動指針

1. 製品の開発にあたっては、環境影響に配慮します。
2. 省資源・省エネルギーに努めます。
3. 廃棄物の低減と再資源化に努めます。
4. 環境影響の継続的改善及び汚染の予防に努めます。
5. 法規制及び同意するその他の要求事項を遵守します。
(その他の要求事項とは、例えば「加入している工業会の環境指針」等をいいます。)
6. 環境目的・目標を設定し、適切な頻度で見直し、環境パフォーマンス向上を図ります。

環境マネジメントシステム

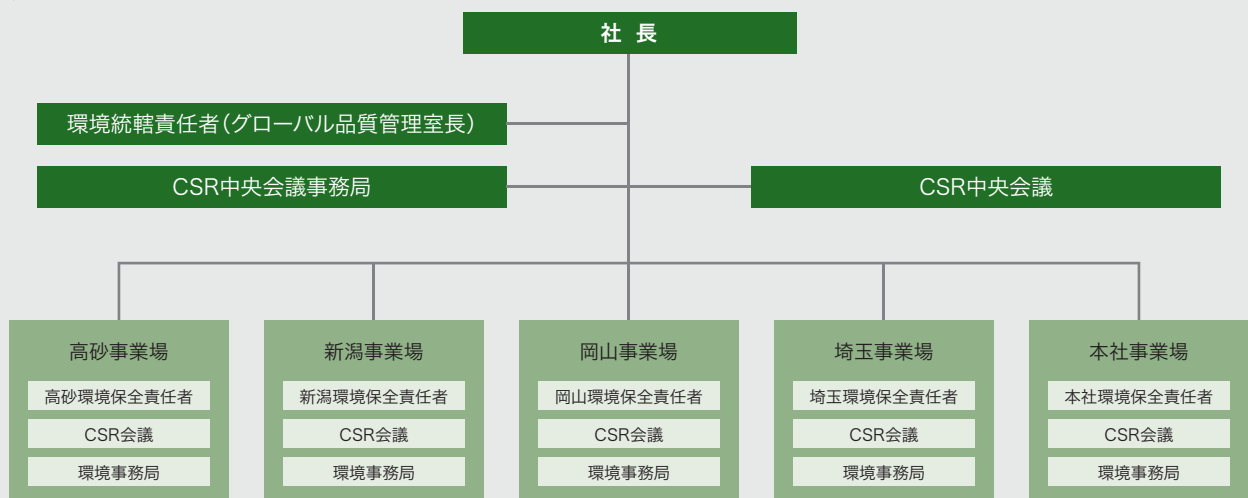
環境管理組織体制

EKKグループでは、全社規模の環境マネジメント体制を整えています。体制の中心となるのは社長を議長とし、各事業場の環境保全責任者で構成される「CSR中央会議」です。
ここで決定された目的・目標のさまざまな取り組みが環境保

全責任者によって各事業場に展開されます。

また、各事業場の環境保全責任者を議長とする「事業場CSR会議」が置かれ、ここで確認された各事業場の取り組みは「CSR中央会議」で報告され、経営層によるマネジメントレビューが実施されます。

環境マネジメント体制



環境に関連する法令順守状況

EKKグループで順守すべき法令等は約300項目あり、すべての項目について定期的に順守を確認する体制をとっています。

EKKの事業活動に関連する主な環境法令等

- 悪臭防止法
- エネルギーの使用の合理化に関する法律
- 下水道法
- 工業用水法
- 工場立地法
- 浄化槽法
- 振動規制法
- 水質汚濁防止法
- 騒音規制法
- 大気汚染防止法
- 地球温暖化対策の推進に関する法律
- 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律
- 特定工場における公害防止組織の整備に関する法律
- 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
- 毒物及び劇物取締法
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- 特定家庭用機器再商品化法
- ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法
- 特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律
- 河川法
- 瀬戸内海環境保全特別措置法
- 排水基準を定める省令
- 土壌汚染対策法
- 使用済自動車の再資源化等に関する法律
- RoHS指令
- ELV指令
- REACH規制

ISO14001 認証取得状況

EKKグループでは、本社および国内の生産事業場が環境マネジメントシステムの国際標準規格「ISO14001」の認証を一括取得しています。これにより、同一方針、同一目的・目標のもとに、統一の取れた環境安全管理活動を行っています。2012年度は、国内連結会社である広島イーグル(株)で拡大審査を受審し、認証範囲を拡大しました。

認証取得状況

企業	サイト
イーグル工業(株)	埼玉事業場、岡山事業場、KEMELカンパニー(高砂事業場、呉事業場、新潟事業場)、EKK営業支店
イーグルブルグマンジャパン(株)	新潟事業場、埼玉事業場、EBJ営業支店
イーグル・エンジニアリング・エアロスペース(株)	
岡山イーグル(株)	
島根イーグル(株)	
広島イーグル(株)	
北海道イーグル(株)	
リグナムバイター(株)	東京営業所

緊急事態対応

EKKグループでは、燃料油・溶剤・排水処理液等が万が一漏洩した際に備え、さまざまな事態を想定し定期的に緊急事態対応訓練を実施しています。2011年3月の東日本大震災で被災した他企業の経験等も参考にしながら、EKKグループの緊急事態対応の更なる改善を推進します。



緊急事態対応訓練
(KEMELカンパニー 呉事業場)

ISO14001 更新・定期審査および内部監査等

EKKグループでは、環境マネジメントシステムが適正に運用されてPDCAによるスパイラルアップができているかを検証するため、監査力量を有する社内監査員による内部監査、および外部審査機関による審査を毎年実施しています。これらの結果は経営層へ報告し、経営層と問題点や改善事項を共有しながら以降の環境保全活動に展開しています。2011年度は3年ごとの更新審査を受審し、ISO14001システムの継続認証を得ました。



ISO拡大審査(広島イーグル)



ISO定期審査(岡山事業場)



ISO定期審査(埼玉事業場)



ISO定期審査
(KEMELカンパニー 呉事業場)

目的・目標と実績

当年度、翌年度、翌々年度と3年間の年度別環境目標を設定し継続的に取り組むことで、目標の着実な達成を目指しています。

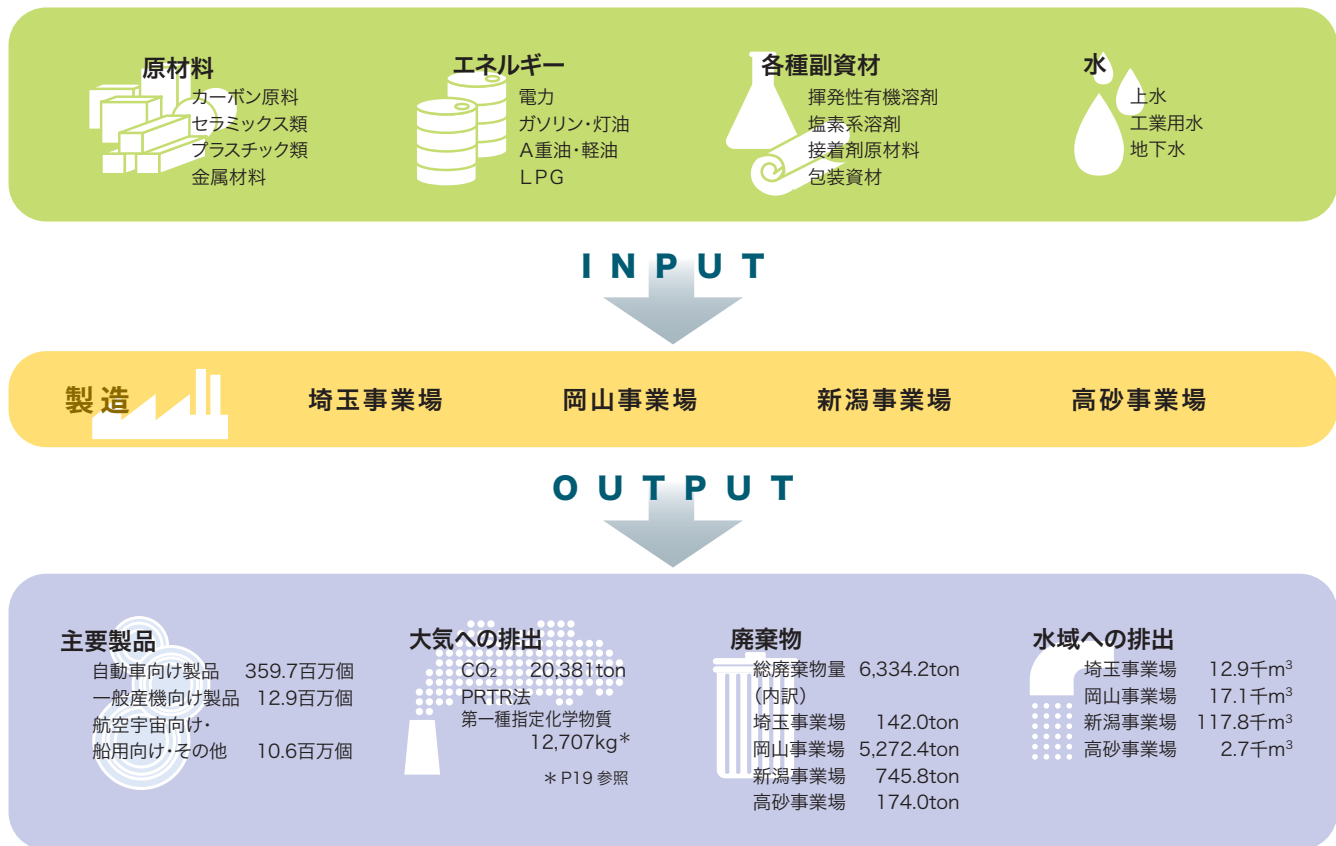
環境方針	目的	2012年度 実績	2013年度 目標	2014年度 目標	2015年度 目標
製品の開発にあたっては、環境影響に配慮する	会社の技術・資源等を活用し、環境影響の抑制に寄与する製品または環境配慮型製品を開発する	各事業場設計部門の計画に基づき推進	各事業場設計部門の計画に基づき推進	各事業場設計部門の計画に基づき推進	各事業場設計部門の計画に基づき推進
省資源・省エネルギーに努める	原油換算原単位を前年度対比で1.0%削減する*1	前年度対比0.9%増	前年度対比1.0%減	前年度対比1.0%減	前年度対比1.0%減
	LCA(Life Cycle Assessment:環境影響評価手法)の導入 『一部の製品を対象に、製品のライフサイクルにおける環境影響を評価する仕組みを導入する』	…	LCAの概要把握、導入準備 (LCA対象の選定、データ算出ツール導入準備等)	LCA実施による環境負荷量の把握	LCA実施による環境負荷量の把握 LCA対象の拡大検討
廃棄物の低減と再資源化に努める	廃棄物の適正な分別管理により、リサイクル率について2012年度レベル(ゼロエミッション)を維持する	99.8%	98% [ゼロエミッションの維持]	98% [ゼロエミッションの維持]	98% [ゼロエミッションの維持]
環境影響の継続的改善および汚染の予防に努める	PCB入り設備(装置)を適正に管理する	管理手順に従った適正管理を実施	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理
	オゾン層破壊物質の大気放出量を適正(各事業場の管理指標に従う)に管理する【2020年度までに全廃】《対象物質:HCFC225》	HCFC225使用量1,239kg	各事業場の指標に従った適正管理	各事業場の指標に従った適正管理	各事業場の指標に従った適正管理
	地域環境への貢献活動の推進	事業場周辺の環境保全活動実施 その他地球貢献活動の抽出	事業場周辺の環境保全活動 その他地域貢献活動の展開	事業場周辺の環境保全活動 その他地域貢献活動の展開	事業場周辺の環境保全活動 その他地域貢献活動の展開
法規制および同意するその他の要求事項を順守する	環境に関する顧客問合せに確実に対応する	システム検討	システム検討	システム 試行運用	システム 本格運用
	原料・材料・部品・製品のグリーン購入の推進を図り、グリーン調達率*2を2013年度までに100%とする	グリーン調達率85.3%	グリーン調達率100%	取引先の適正管理維持を実施	取引先の適正管理維持を実施
	事業場からの油・酸・アルカリ等、有害物質の流出防止を図る 『排水処理施設の管理』 『油・酸・アルカリ等、有害物質の緊急時に備えた対応』	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)
	土壌・地下水汚染の継続的改善	トリクロロエチレンによる地下水汚染有り	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理	管理手順に従った適正管理
	溶解炉から放出するばい煙を適正に管理する	管理手順に従った適正管理を実施	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)
	コンプレッサー等の特定施設から発生する騒音・振動を適正に管理する	管理手順に従った適正管理を実施	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)	管理手順に従った適正管理 (自主基準に基づく監視・測定)
環境方針1.～6.項	環境管理活動の活性化	表彰基準(案)の作成	表彰制度の導入・運用	表彰制度の運用	表彰制度の運用

*1 2012年度より省エネや節電効果をより適切に把握することを目的に「エネルギー使用量と密接な関係を持つ値」を原単位分母として各事業場で選択する。(省エネ法で規定されている原単位分母の複数化管理)
*2 グリーン調達率=(「グリーン調達ガイドライン」順守取引先数÷「グリーン調達ガイドライン」適用取引先数)×100

環境負荷削減の取り組み

地球温暖化防止や循環型社会構築に貢献するため、事業活動によって生じる環境負荷を把握・分析し、省エネルギー、廃棄物削減、有害物質の適切な管理等の環境負荷低減活動に活かしています。

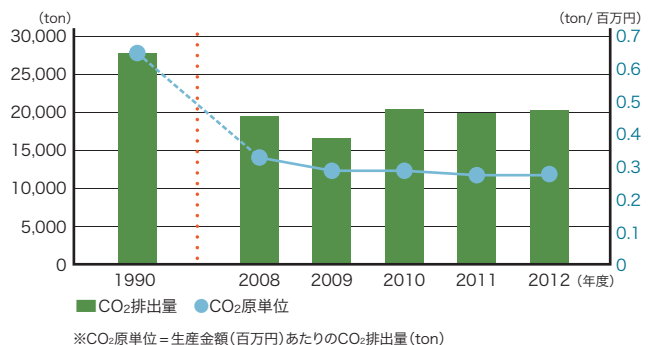
事業活動と環境負荷



省エネルギーへの取り組み

EKKグループでは、地球温暖化防止への貢献を重要な課題としてとらえ、省エネルギー活動を推進してきました。各工場では、新規設備の導入、設備の更新の際に、省エネタイプのものを優先的に選定しています。また、事務処理業務が中心の間接部門では、蛍光灯・PC電源の不要時のOFFや、コピー用紙の節減に努めるなど、日常的に省エネルギーに取り組んでいます。本社・支店等でも、ISO14001環境マネジメントシステムに基づく環境保全活動を推進し、パトロールや定期的な内部監査・教育訓練等で活性化を図りながら省エネルギー活動を展開しています。この結果、EKKグループのCO₂総排出量は、世界的経済不況とその後の急激な経済回復の影響を受けていますが、長期的には減少傾向をたどっています。再生可能エネルギーなどの省エネルギー関連の最新動向や、業界団体・グループ会社の省エネ事例情報をEKKグループで共有しながら、将来のCO₂排出量シミュレート、および中長線を踏まえた省エネ課題・重点取組事項等に関する検討など、活動の推進に努めています。

二酸化炭素排出量の推移



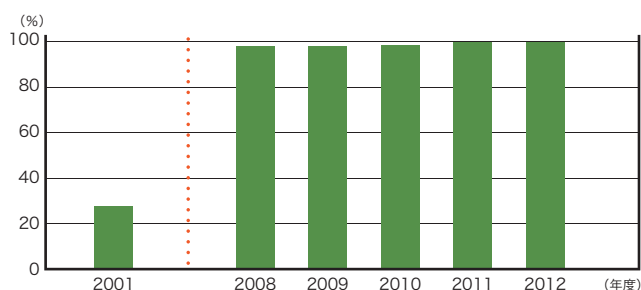
廃棄物削減の取り組み

事業活動に伴って発生する廃棄物の管理状況については、ステークホルダーの皆さま、とりわけ周辺住民の方から高い関心が寄せられています。EKKグループでは、廃棄物による環境リスクを低減することは企業市民として当然の責務であると考え、法に従い安全かつ適正に処理しています。2001年度の時点では、リサイクルできたのは一部の金属廃棄物のみでした。その後、廃プラスチック、カーボン粉、有機汚泥等の再資源化に努め、2012年度はリサイクル率を99.8%まで向上させることができました。循環型社会の実現に貢献するため、2013年度以降も全ての事業活動でさらなる廃棄物のリサイクル化を進めていきます。

廃棄物量・リサイクル量の推移



リサイクル率の推移



汚染防止・化学物質管理

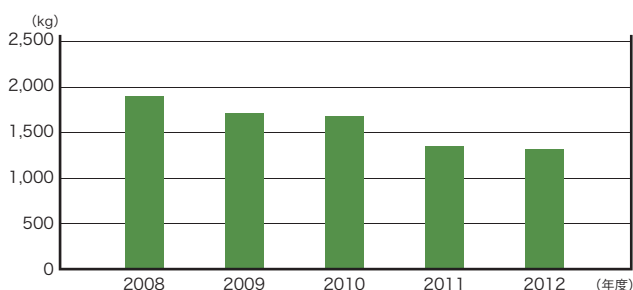
HCFC225(オゾン層破壊物質)の排出削減

EKKグループでは精密部品の洗浄等にオゾン層破壊物質であるHCFC225を使用しています。これまで、一部製品を対象とした代替化や、HCFC回収装置のメンテナンス頻度を上げることで、大気放出量の削減等の改善にも取り組んできました。その結果、2012年度は統計を開始した2003年度に対してHCFC排出量を77%削減することができました。2020年度までのHCFC225の全廃に向けて、継続して排出量削減活動に取り組めます。



HCFC回収装置

HCFC225使用量の推移



調達における取り組み

グリーン調達の推進

EKKグループでは、2008年5月に「EKKグリーン調達ガイドライン」を制定しました。以来、仕入先様に対して原材料・部品・製品・副資材に関する化学物質管理の徹底を要請し、グリーン調達の推進に努めています。各事業場では仕入先様をお招きして、説

明会等を実施しました。

2012年度からは「NOKグループグリーン調達ガイドライン」を採用し、NOKグループと連携した管理・運用を展開します。

2012年度のグリーン調達率は85.3%となりました。



PRTR法への対応

EKKグループでは、指定化学物質の環境への排出量・移動量の届出を義務付けるPRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律)に従い、該当する下記4物質について法規制に基づく届出を行いました。

PRTR法第一種指定化学物質の排出・移動量

政令 番号	第一種指定化学 物質の名称	排出量(kg)				移動量(kg)	
		大気	公共用 水域	事業所 土壌	事業所 埋立	下水道	事業所外
258	ヘキサメチレンテトラミン	0	0	0	0	0	2,582
300	トルエン	12,707	0	0	0	0	1,323
308	ニッケル	0	0	0	0	0	16,536
349	フェノール	0	0	0	0	0	1,719
	合計	12,707	0	0	0	0	22,160

土壌、地下水汚染改良への取り組み

埼玉事業場は、1965年の開設以来、1997年まで金属製品の洗浄工程に塩素系溶剤のトリクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタンを使用していました。1995年からの自主調査でこれらの塩素系溶剤による土壌汚染が生じていることが判明し、また、その後の調査で地下水汚染が判明しました。土壌汚染については汚染土壌の入替工事を行い、また、地下水汚染については汚染の拡大防止のため事業場敷地境界にバリア井戸を敷設しました。さらに、事業場内に汚染除去井戸を敷設し、浄化作業を継続して実施しながら、その効果を定期的に行政に報告しています。

EU指令(ELV規制*1・RoHS指令*2)への対応

EUは、材料・構成部品に含有される環境負荷物質を排除するため、ELV規制(自動車業界)で鉛、水銀、カドミウム、六価クロムを、またRoHS指令(電子業界)でこれら4物質に加えて臭素系難燃剤(ポリ臭化ビフェニル、ポリ臭化ジフェニルエーテル)の使用を禁止しました。EKKグループではこれらの規制に対応すべく、対象製品のデータベース化と代替化を推進しています。

2012年度は、対象業界向け製品における上記環境負荷物質の使用全廃を目標に、代替材の選定と評価をお客様と推進し、代替材への切替えを進めてきました。ご承認いただくための評価試験や協議を継続中の一部お客様につきましても、当該物質の使用全廃に向けた検討をお客様のご指導を仰ぎながら推進していきます。

*1 ELV規制=EUが2000年10月より施行した、使用済み自動車(End of Life Vehicle)に関する指令

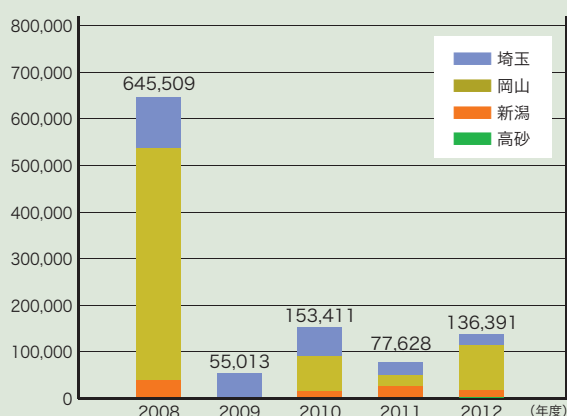
*2 RoHS指令=EUが2006年7月より施行した、電気電子機器に関する指令

環境投資

2012年の主な投資内容

- (1) 埼玉事業場(22,849千円)
エネルギー監視システム追加工事、電源供給回路の見直し等
- (2) 岡山事業場(96,805千円)
省エネルギータイプの照明、設備への更新等
- (3) 新潟事業場(16,020千円)
電力中央監視システム、エアハンインバーター取り付け工事等
- (4) 高砂事業場(717千円)
照明のLED化

環境投資実績 (単位: 千円)



従業員・地域とともに

従業員のためにも、また地域の人々のためにも、安全で衛生的な職場環境を整備していくことが重要な責務であると考えています。今後とも労働安全衛生の確保をはじめ、従業員の心と体の健康づくり、交通安全の推進等に積極的に取り組んでいきます。

労働安全衛生の取り組み

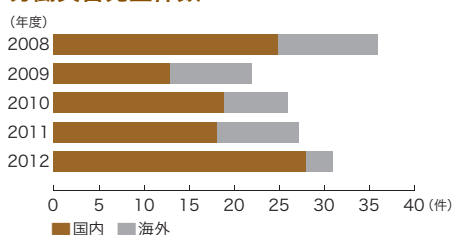
EKKグループでは「安全衛生方針」を定めるとともに、事業場ごとに事業場長を総括安全衛生管理者とする安全衛生管理組織を設け、OHSAS18001のシステムを導入して安全衛生活動を推進しています。各事業場事務局と本社総務部とが連携することで、この活動に全社レベルで取り組んでいます。

- 「安全衛生方針」については、イーグル工業株式会社ホームページでご紹介しています。
[http:// www.ekk.co.jp/csr/safe.html](http://www.ekk.co.jp/csr/safe.html)

国内外労働災害発生状況

労働災害は、不安全状態（設備の安全装置欠如等）や不安全行動（人の行動）により発生するといわれています。EKKグループでは、不安全状態の対策としてこれまで実施してきた新規設備・機械の点検パトロールに加え、不安全行動の抑制策として、不安全行動により生じる危険状態を体感できる設備を導入しました。2012年度より各所で順次体感する場を設け、不安全行動による労働災害の発生防止に努め、設備と人の両面で安全衛生を充実させ、労働災害の減少（撲滅）に努めていきます。

労働災害発生件数



2012年度労働災害内訳

重大 …………… 23%
 休業 …………… 0%
 不欠 …………… 77%
 ※重 大：休業4日以上の災害
 休業労災：休業1日～3日の災害
 不欠労災：病院での治療を行うが休業には至らない労災

危険体感機受講者

2013年3月末時点

事業場	管理職受講者	一般者受講者	総受講者
岡山事業場	30	79	109
岡山イーグル	11	9	20
岡山イーグル 東海事務所	1	13	14
島根イーグル	6	21	27
広島イーグル	8	28	36
埼玉事業場	25	98	123
イーグルブルグマンジャパン 新潟事業場	46	102	148
合計			477



危険体感受講中（ローラ巻き込まれ体感）



危険体感教育用複合機

心と体の健康

EKKグループでは、従業員の心身の健康維持・増進を図るため、24時間電話健康相談サービス（無料）を実施しています。また、産業医、看護師、管理職が共同して従業員のメンタルヘルスケアに取り組む等、心身の健康管理を積極的にサポートしています。

2012年度電話健康相談実績

相談内容	件数	相談内容	件数
健診・ドックに関する相談	7	育児相談	122
健康保持・増進に関する相談	12	夜間・休日の医療機関の案内	28
気になる体の症状についての相談	322	ストレスおよびメンタルヘルスに関する相談	43
家庭看護	56	医療機関の相談	39
治療に関する相談	244	その他	26
母子保健に関する相談	5	合計	904

※上記件数は、NOK、EKKグループの合計

交通安全の取り組み

EKKグループでは、交通安全教育の一環として交通安全運動を実施しています。

また、無事故・無違反の従業員に対しては、5ヵ年ごとに表彰しています。

交通事故や交通違反を犯した従業員には、その運転が業務上か私用かを問わず「事故報告書」または「違反届」を提出してもらい、職場ごとに自戒を促し、再発防止に努めています。



近隣自動車修理工場の協力により事故の悲惨さを目の当たりにする交通安全啓蒙（島根イーグル）



制限速度順守のためのペースメーカーカー（岡山事業場・岡山イーグル）

主な安全関係の設備投資・法定点検費用

2012年度の主な投資内容（修繕含む／計54,510千円）

- (1) 埼玉事業場（4,548千円）
CE試験通路改修、作業環境測定、消防法設備法定点検・修繕
- (2) 岡山事業場（35,198千円）
ACC移管設備安全対策、鋳造機安全対策、プレス防音ボックス設置
- (3) KEMELカンパニー（7,542千円）
備蓄防災用品購入、第二工場屋外冷水ポンプ足場設置、ハーネス型安全帯導入
- (4) イーグルブルグマンジャパン（株）新潟事業場（7,222千円）
酸素濃度／ガス漏れ検知機校正、各種年次点検



品質への取り組み

EKKグループでは、お客様の信頼に応え続けていくために、品質を最優先した製品・サービスの提供に努めています。また、お客様ニーズを的確にとらえ、製品・工程の改善を継続的に実現していくことで、お客様満足の向上に取り組んでいます。

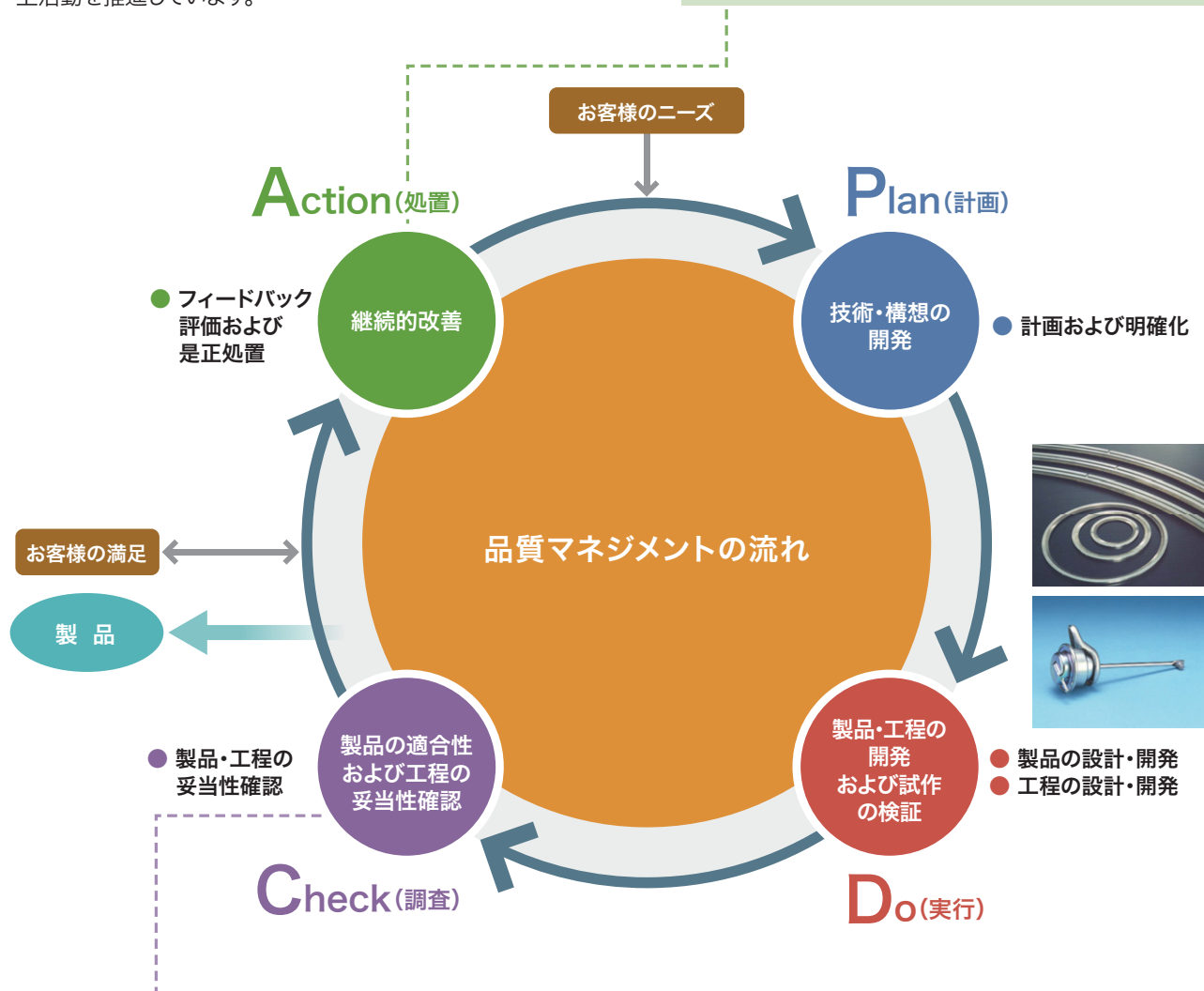
品質向上に向けた継続的な取り組み

製品の品質に対するお客様の要求は年々厳しくなっており、また、一方で製造技術や設備もますます高度化・複雑化しています。このような状況に対応するためには、ISO9001(品質マネジメントシステム-要求事項)、ISO/TS16949(自動車生産及び関連サービス部品組織のISO9001適用に関する固有要求事項)、JIS Q 9100(航空宇宙品質マネジメントシステム)等を導入し、これらを適確に維持・運用していく必要があります。イーグル工業ではISO9001等の品質の国際規格認証を取得して、品質向上活動を推進しています。

現場での品質改善活動



各現場では、関連部門も交えた多機能協業チームにて、効果的・効率的に品質改善活動を推進しています。



工程上の潜在的な諸問題を予測して、これを事前に解決するため、FMEA*などの手法を用いて工程の分析・改善を行い、製造プロセスを決定しています。また、作業の安全、品質の安定、作業の効率化を図るため、作業内容を標準化し、明確にしています。

* FMEA(Failure Mode and Effects Analysis)とは、製品や工程に関する潜在的故障とその影響を認識して評価を行い、それらの発生機会を解消または減少させ得る処置を明確にし、その経過を文書化する、故障・不具合の体系的分析方法

品質の国際規格認証取得状況

事業部/グループ会社	主な関連業界	取得規格	取得年月
AICI事業部	建設機械・原子力発電・自動車	ISO9001 ISO/TS16949	1999年 5月 2005年10月
航空宇宙事業部	航空・宇宙	ISO/JIS Q9100 (ISO9001を含む)	2004年 4月
KEMELカンパニー	船舶	ISO9001	1994年 3月
イーグルブルグマンジャパン(株) 新潟事業場	一般産業機械	ISO9001	1999年 3月
イーグルハイキャスト(株)	鋳造	ISO9001	2001年11月

日本と世界に広がるEKKグループ

国内事業場・営業支店およびグループ会社

①北海道イーグル株式会社



正面に噴火湾、左に有珠山、右に駒ヶ岳を望む地に1996年ホタテ養殖用ロボットの生産・販売・メンテナンス拠点として設立。現在は機械加工専門事業場として、「品質第一」に事業を展開。

■主な製品 メカニカルシール、航空宇宙関係部品の高精度切削加工

②イーグルブルグマンジャパン株式会社 新潟事業場



EKKグループの一般産業機械業界向け製品の生産拠点であるとともに、イーグルブルグマングループのアジア・パシフィック地域マザープラントとして、環境にやさしい製品と関連事業を世界へ展開。

■主な製品 メカニカルシール、溶接ペロース、回転継手、焼結材料応用部品、他

③埼玉事業場



1965年メカニカルシール専門工場として設立。現在は航空宇宙事業部の技術・生産拠点、並びに技術本部を中心とする企画・研究・開発拠点として、次代を担う環境配慮型製品の研究・開発・製造を行う。

■主な製品 ジェットエンジン用シール、ロケット用シール等の航空宇宙機器用シール

④株式会社バルコム



2002年1月、新工場を建設し、製造部門を移転・拡張。お客さまの多様なニーズにきめ細かく応える「圧力・荷重の専門集団」として、多数の業界初製品を開発・提供し続けている。

■主な製品 圧力センサ(差出力、アンプ内蔵、圧力スイッチ、ロードセル、デジタル表示器)

⑤リグナムバイター株式会社



神戸の旧盛り場として知られる「新開地」の南に位置し、約1,300m²の敷地にリグナムバイターの本社部門、神戸営業所およびKEMELカンパニーの神戸支店が同居。

■主な製品 KEMEL製品を主体とした船用関連商品の仕入れ販売



図示以外のグループ会社として、イーグルサービス株式会社があります。

⑥イーグル工業株式会社 KEMELカンパニー



高砂事業場



呉事業場

2012年4月にEKKと合併し、事業体制を強化。総合船舶用シールメーカーとして「船舶の安全・快適な航行」「環境保護」に貢献している。

■主な製品 船尾管シール装置、船尾管軸受、中間軸受、プロペラ修理、他

⑦岡山イーグル株式会社



岡山県中西部・高梁市の美しい山々と清流に囲まれた地にあり、フローティングシール、自動車用アキュムレータ、バルブ製品等、環境に配慮した製品を生産。環境保全活動にも積極的に取り組んでいる。

■主な製品 トラックローラー用フローティングシール、自動車用アキュムレータ、油圧調整弁、吸気制御弁用アクチュエータ等

⑧岡山事業場



美しい山々と豊かな水に恵まれた岡山県高梁市に位置し、地域に根ざした環境保全活動に積極的に取り組んでいる。環境に配慮した製品を数多く製造しており、2012年度からは一般産業機械向けアキュムレータの製造も始めた。

■主な製品 自動車用メカニカルシール、カーエアコン用制御弁、一般産業機械向けアキュムレータ

⑨島根イーグル株式会社



緑豊かな島根県雲南市にあり、水質基準を守り、宍道湖の環境保全に配慮している。リップシール等環境に良い製品を生産し、地域の環境活動にも全社員で取り組んでいる。

■主な製品 リップシール、コントロールバルブ、AT用ソレノイドバルブ

⑩広島イーグル株式会社



2011年7月に第二工場を増築。同年9月より部品供給量を拡大し、EKKグループの自動車産業向け部品加工の中核工場としての役割を担う。

■主な製品 自動車のウォーターポンプ用メカニカルシールおよびコントロールバルブの構成部品

⑪イーグルハイキャスト株式会社



2010年8月、機械加工棟を増設し大型鋳物製造から機械加工まで一貫生産を行っている。100kg以下の大口製品は自動成型ラインでの対応も可能。

■主な製品 船舶・建設機械・産業機械等の部品、マンホール鉄蓋(製品単量 5kg~15トン)



海外グループ会社

EKKグループは「グローバル・アンド・パブリックカンパニー」をキーワードに、ドイツのメカニカルシールメーカーであるブルグマン社と技術・製造・営業、さらには資本分野を含む全面提携を行い、強固なアライアンス関係を構築しています。

欧米諸国や、新興国として成長著しい中国、インドをはじめとして世界45カ国に子会社・関連会社と合わせ100数社を有し、世界三大グローバル・メカニカルシール・プレイヤーの一角を形成しています。

生産および販売拠点 (36社)

自動車・建設機械業界向け事業

- ★Eagle Industry Taiwan Corporation (台湾)
- ★Eagle Industry (Wuxi) Co., Ltd. (中国)
- ★Eagle Simrax B.V. (オランダ)
- ★EKK Eagle (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
- その他7社

一般産業機械業界向け事業

- ★EagleBurgmann Australasia Pty. Ltd. (オーストラリア)
- ★EagleBurgmann New Zealand Ltd. (ニュージーランド)
- ★P.T. EagleBurgmann Indonesia (インドネシア)
- ★EagleBurgmann India Pvt. Ltd. (インド)
- その他20社

船用業界向け事業

- ★Eagle Materials Korea Co., Ltd. (韓国)

販売拠点 (46社)

自動車・建設機械業界向け事業

- ★EKK Sales Europe B.V. (オランダ)
- その他5社

一般産業機械業界向け事業

- EagleBurgmann France S.A.S. (フランス)
- EagleBurgmann Italia s.r.l. (イタリア)
- その他33社

船用業界向け事業

- ★KEMEL EUROPE LIMITED (英国)
- ★KEMEL USA INC. (米国)
- ★KEMEL Asia Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)

航空宇宙業界向け事業

- ★Eagle Engineering Aerospace Singapore Pte. Ltd. (シンガポール)
- その他1社

その他 (14社)

自動車・建設機械業界向け事業

- ★EKK INC. (米国)
- ★Eagle Europe GmbH (ドイツ)
- その他2社

一般産業機械業界向け事業

- ★EBI Asia Pacific Pte. Ltd. (シンガポール)
- EBI Atlantic A/S (デンマーク)
- EBI Asia Pte. Ltd. (シンガポール)
- EBI Middle East A/S (デンマーク)
- その他6社

- ★：連結子会社
- ：持分法適用会社

Eagle Industry France S.A.S. (フランス)



源流は、1998年に独WITZENMANN GmbHとの合併でフランスに設立したEAGLE WITZENMANN S.A.S. 2008年、イーグル工業株式会社の完全子会社となり、主に欧州・北米の顧客向けにカーエアコン用コントロールバルブ・シャットオフバルブの製造・販売を行ってきた。現在、海外日系顧客への製品供給を、仕入れ販売から現地生産へとシフトしており、これに伴い部品の現地調達化・内製化など、原価低減に取り組んでいる。

EagleBurgmann Germany GmbH & Co. KG (ドイツ)



1884年、シールメーカーのBurgmann社として設立された。2005年、イーグル工業株式会社との合併事業の開始に伴い、社名をEagleBurgmann Germanyに変更。一般産業用メカニカルシールの設計・製造・販売を行っている。

NEK Co., Ltd. (韓国)



1987年に韓国NOKイーグル(株)として設立され、2005年に現在の社名に変更。ISO/TS16949、ISO14001の認証を取得し、品質・環境面で継続的改善を推進している。自動車用ウォーターポンプシール、カーエアコン用リップシール、家電用ホームポンプシール、水中ポンプ用シールを生産・販売。2009年からは制御弁の販売も開始した。また、自動車用シールに使用される焼成シールリングでは、EKKグループ各社への供給基地となっている。

P.T. Eagle Industry Indonesia (インドネシア)



1990年、インドネシア国内のプロメカ補修をメイン業務に設立し、その後、Burgmann社とのアライアンスを機に自動車・建設機械関連製品の生産販売会社へと転換。以来、主に二輪車向けリードバルブ生産・販売を行ってきたが、2013年に新工場を設立し、フローティングシールの第三番目の生産工場として生まれ変わった。同国内で好調な四輪車販売を受けて、ウォーターポンプシールの販売増、リップシールの新規販売も見込まれ、「インドネシアNO.1部品サプライヤー」を目指している。

「EKKグループ CSR報告書 2013」へのご意見、ご感想をお寄せください。

「EKKグループ CSR報告書 2013」をお読みいただきありがとうございました。

皆さまから読後のご意見、ご感想をいただき、今後のCSR活動や本報告書の作成に役立てていきたいと考えています。つきましては、お手数ですが、下記アンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

ご回答
送付先

イーグル工業株式会社
業務本部 総務部 CSR課

FAX.03-3432-5448

Q1

本報告書をお読みいただいたご感想をお聞かせください。

- ① わかりやすさ ☐ 大変わかりやすい ☐ わかりやすい ☐ 普通 ☐ ややわかりにくい ☐ わかりにくい
- ② 読みやすさ ☐ 大変読みやすい ☐ 読みやすい ☐ 普通 ☐ やや読みにくい ☐ 読みにくい
- ③ 記事のボリューム ☐ 多すぎる ☐ やや多い ☐ ちょうどよい ☐ やや少ない ☐ 少なすぎる
- ④ 記事の内容 ☐ 大変充実している ☐ 充実している ☐ 普通 ☐ やや物足りない ☐ 物足りない

Q2

本報告書で印象に残った項目を下からお選びください(複数回答可)

- ☐ 表紙 ☐ 目次 ☐ 大きな地球を守る、確かな技術 ☐ トップメッセージ ☐ くらしと社会を支えるEKKグループ
- ☐ 特集 社会を支えるEKKの先進技術…豊富な製品群で多様なニーズに応えるEKKアキュムレータ
- ☐ 特集 社会を支えるEKKの先進技術…クリーン&高性能を実現。給油の要らない焼結軸受「ルプレスドライベアリング」
- ☐ CSRマネジメント ☐ 環境マネジメント ☐ 環境負荷削減の取り組み
- ☐ 従業員・地域とともに ☐ 品質への取り組み ☐ 日本と世界に広がるEKKグループ ☐ 私のCSR報告

Q3

本報告書やEKKグループのCSR活動について、ご意見・ご感想・ご提言がありましたらお聞かせください。

Q4

本報告書をどのような立場でお読みになりましたか。

- ☐ お客様 ☐ 株主・投資家 ☐ 当グループ事業場等の近隣にお住まいの方 ☐ 政府・行政関係者 ☐ 報道関係者
- ☐ NGO・NPO ☐ 企業・団体の環境担当者 ☐ 調査・研究機関 ☐ 学生 ☐ 当グループ従業員
- ☐ その他()

ご協力ありがとうございました。お差支えない範囲で、下記にご記入ください。

ご記入いただいた個人情報は適切に管理し、本報告書のアンケート情報としての利用に限定し、ほかの用途には一切使用いたしません。

●お名前

●性別

男性・女性

●年齢

歳

●ご連絡先(□ご自宅 □勤務先)

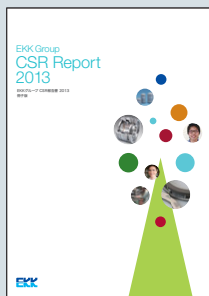
〒

●E-mail

●ご職業

●部署・役職名

EKKグループ CSR報告書 2013 冊子版のご案内



本誌(WEB版)の掲載内容から「経営体制」「環境報告」「品質管理」を割愛した、ダイジェスト版の冊子も発行しています。
冊子の送付をご希望の方は、部数と送付先をご記入のうえ、下記までご請求ください。

【冊子ご請求先】

イーグル工業株式会社 業務本部 総務部 CSR課
FAX.03-3432-5448

●さらに、下記について、WEBページで紹介しています。

- | | |
|---|--|
| ● リスクマネジメント方針
http://www.ekk.co.jp/csr/risk.html | ● 環境方針
http://www.ekk.co.jp/csr/env.html |
| ● 事業活動における倫理上の行動指針
http://www.ekk.co.jp/csr/ethics.html | ● EKKグリーン調達ガイドライン
http://www.ekk.co.jp/csr/green.html |
| ● 安全衛生方針
http://www.ekk.co.jp/csr/safe.html | |



イーグル工業株式会社

〒105-8587 東京都港区芝大門1-12-15 正和ビル

<http://www.ekk.co.jp/>